

実践テーマ

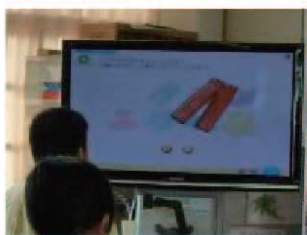
電子黒板を活用しながらデモンストレーションを見聞きしたり、聞き取りゲームをしたりする活動を通して、買い物場面で使う表現に慣れ親しむことができるようにする。

授業の進め方・ICTの活用の仕方

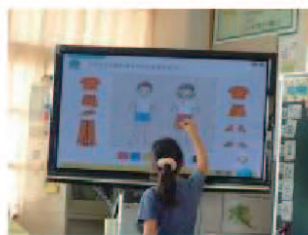
- 〈導入〉 衣服絵カードを提示し、チャンツに合わせ発音させる。Do you have a cap? (雰囲気づくりをする)
- 〈展開〉 ・電子黒板を操作しながら着てみたい服の色を紹介する。  
・電子黒板で買い物場면을提示し、店員と客になって買い物場面における表現に慣れ親しませる。
- 〈まとめ〉 児童が自分でデザインした衣服を実物投影機で映し、表現の仕方を知らせる。

本時の展開

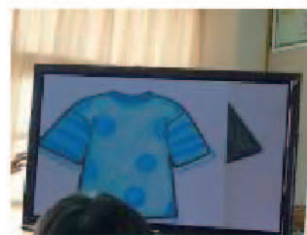
学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶をする。</li> <li>衣服絵カードを提示し、チャンツに合わせ発音する (PC教材)。 Do you have a cap? 言えていたらgoodと言って次のカードを提示する。そうでない場合は、Once more time. と言ってもう一度発音させる。</li> </ul>	●英語ノートデジタル版 (文部科学省)
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>服の色の紹介の仕方を知り、着てみたい服の色を紹介する (PC教材)。</li> <li>買い物場面での疑似体験をする。 Do you have ~? Yes./No. Here you are.</li> <li>電子黒板で買い物場면을提示し、表現したい品物に○を書き込んで発音させ、聞いている児童に買い物場面での英語表現の仕方を知らせたり、正しく言えているか聞き取らせたりする。</li> <li>買い物場面で使う表現を使うゲームをする (PC教材)。</li> </ul>	●英語ノートデジタル版
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分がデザインした衣服の表現を知る (静止画)。</li> <li>学習のまとめをする。</li> </ul>	●児童作品



電子黒板で衣服絵カードを提示し、児童が電子黒板を操作しながら発音



電子黒板を児童が操作しながら、着てみたい色の衣服を紹介する



実物投影機で、児童のデザインした衣服を映し出す

児童の反応・効果

- ・振り返りカードやつぶやきから「外国語活動が楽しい」「好き」など、肯定的な考えの児童が増えた。
- ・音声と視覚教材を提示することにより、児童は音声の意味をより理解しやすくなり、自信をもって電子黒板の音声を繰り返すことができた。電子黒板を使うことで、児童を見ながら活動を行うことができ、スムーズに展開することができた。
- ・電子黒板を児童自身が操作し、チャンツやゲームをしたり、学習したりすることは、児童の興味・関心を喚起するのに有効であった。

活用のポイント

- ・電子黒板を見るだけでなく、児童が操作する活動も取り入れることで、表現への意欲も高まり、視覚的、聴覚的な理解も図れる。また、繰り返し発話させることもできる。
- ・電子黒板での発音が速い場合にはALTに発音してもらうなど、電子黒板の活用とALTの役割を明確にしておくことより効果的である。